

DIGとは？一目的

あなたは、
南草津玉川学区の地域住民です。
ここでは、

①地震災害により

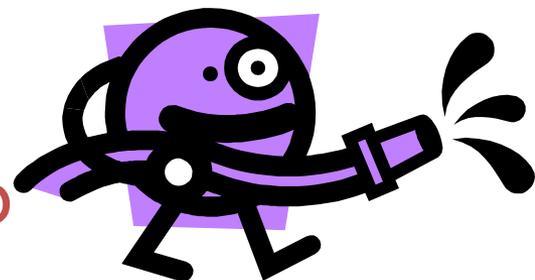
どのような被害が予測されるかを知る

②それらの被害に対して

どのような対策がとれるか検討する

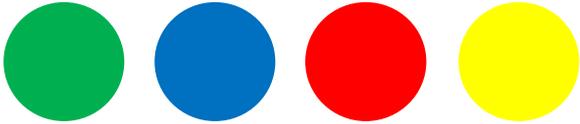
③地区の

現状と課題について整理する



はじめる前に

テーブル上の準備品を確認しましょう！

- 地図
- 透明シート
- マジック 3色 
- 付箋
- 赤色のシール 

1. 地図の基礎情報の説明

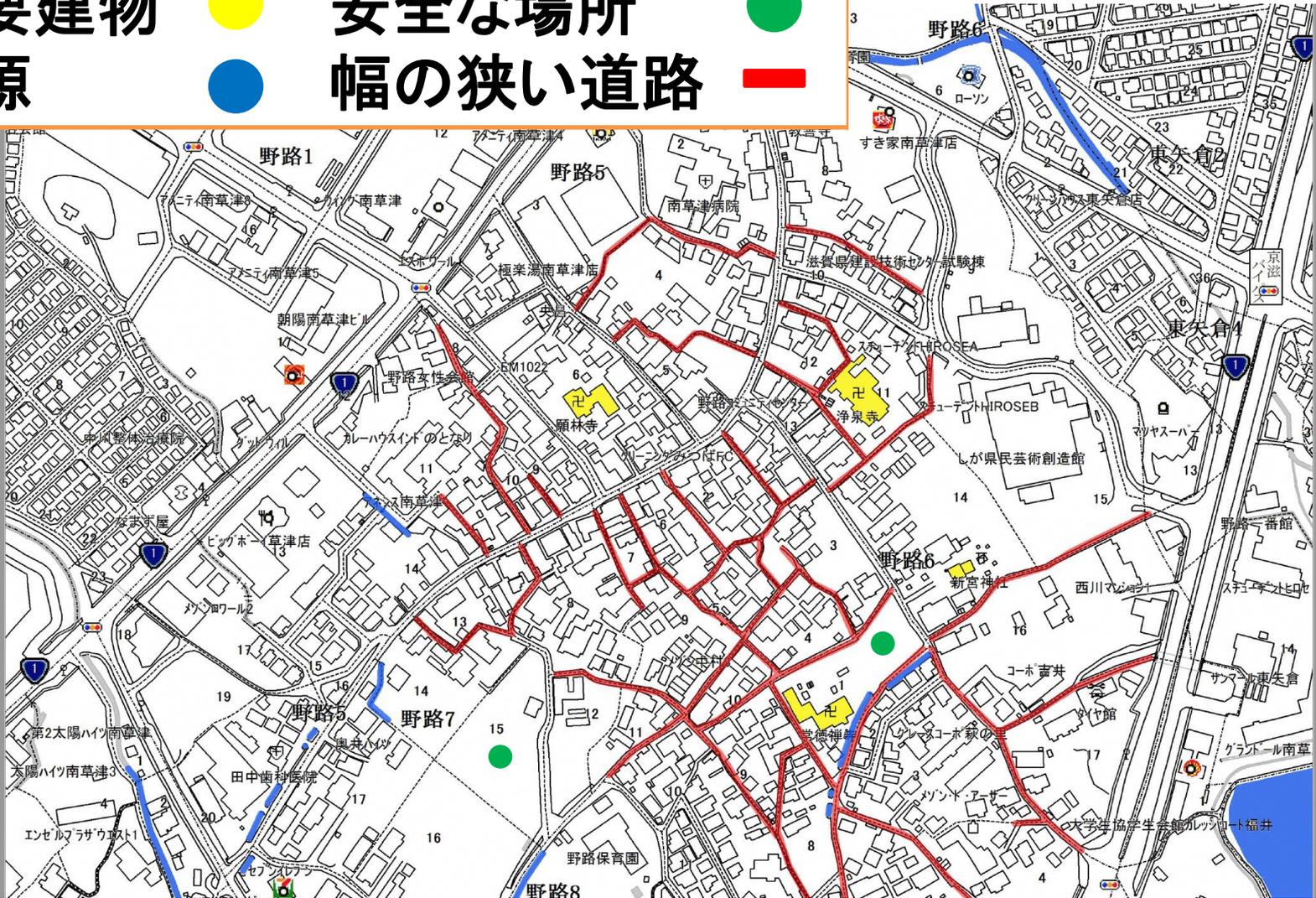
重要建物
水源



安全な場所



幅の狭い道路



1. 地図の基礎情報の説明

地域にとって重要な建物や美術工芸品がある場所

・・・●黄色

災害時に安全と思われる場所(空地など)と防災器具

・・・●緑色

地域の水源(井戸・ため水など)

・・・●青色

道路の幅が狭い区間

・・・●赤色の線

スタート！

まずは、地図の上にビニールシートを重ねます！

1. 地図の基礎情報の説明

1) 文化財建造物ほか、重要な場所や建物

- ・社寺や文化財建造物、地域にとって重要な場所や建物、美術工芸品などの動産文化財がある場所を黄色で示す



1. 地図の基礎情報の説明

2) 安全な場所



事例) 公園

- ・安全な場所と思われる所に緑色でチェック
(駐車場、境内、公園、空地等)



事例) 防災倉庫

- ・防災器具などの場所や種類も記入

1. 地図の基礎情報の説明

3) 地域の水源地



- ・水源や水利を
青色
マジックで示す
(河川、海、プール、
井戸、池、風呂屋、
お豆腐屋など、常
に水がある所)



2. 地震による危険性

※想像してみましよう！！

地震によってどのような危険性が生まれるでしょう？

2枚目のビニールシート

現状の地図の上にビニールシートを更に重ねます！

2. 地震による危険性

①道路閉塞の発生

- 道路がふさがり可能性があると思われる場所付近に赤の×印を20ヶ所つけて下さい
 - > 閉塞した道路は、消防車やポンプ車の通行が不能になる。
 - > 歩行による消火活動や避難活動も困難になる。

作業の目安

- **幅4m未満の道路**
 - 閉塞
- **幅4～6mの道路**
 - 両側が木造建物なら閉塞

作業時間: 5分

2. 地震による危険性

①火災の発生

地震が発生した場合、
同時多発的に火災が発生すると考えられます。

出火しそうな場所を3ヶ所に、

火シールを貼り付けて下さい

例えば...

- 住宅が多い場所
- 飲食店やお土産屋さん

etc..

作業時間:3分

3. 避難経路

1時間で火が延焼する範囲として、
出火点を中心として半径50mの円を描いて下さ

円の中から、安全な場所へ避難します

- ✓ 避難のスタート地点は、一人一つ指定します。
- ✓ 閉塞した道路は通行できません。
- ✓ あなたは地域住民です。地域の大切なものにも配慮し避難経路を選定して下さい。



安全な所(緑色のエリア)までの避難ルートを緑線で記入



避難の際に考えられる問題点と対策のアイデアを
付箋に記入

4. 問題点の整理

明らかにになった**防災上の問題点と
対策のアイデア**を
各テーブルより一人が代表して
発表してもらいます。

4. 問題点の整理

防災上の問題点の例

- 幅員の広い道路が無く、避難経路が確保できない
- 建物が密集していて、道路閉塞の可能性が高い
- お年寄りが多く、スムーズな避難誘導ができない
- 狭い道が多く、お年寄りや子どもなどの避難が容易じゃない
- 木造密集市街地との理由から、延焼が拡大しやすい
- 消火用の水源が少ない



初期段階での消火活動が大切！

5. 実際の取り組み

市民消火を支援し、公設消防をバックアップする

⇒ 市民消火栓 + 小型放水銃 + (延焼抑止設備 + 避難灯)



日常利用
も重視した
機能

住民の日常利用により機能確認
できる（打ち水等）市民消火栓

景観と調和したシステム
（検討中）